

あかれんが vol.9

Yokohama Chuo Hospital AKARENGA

『藤田院長より新年のご挨拶』



病院長 藤田 宜是

皆様、明けましておめでとうございます。と例年のように新年のご挨拶を交わして、のんびりしてはいられません。世の中はコロナ禍で医療崩壊が現実のものになってしまいました。感染リスクは特定の場所だけでなく家庭内でも憂慮され、ウイルスは広く巷に蔓延しています。しかし我々職員一人ひとりが日常生活のなかで危険な行動を避け、感染予防策を徹底して横浜中央病院からクラスターが発生することがないように気を付けています。日々の業務に携わる上で油断することなく、皆で心を一にして新年を明るく楽しい一年にしていきたいと思います。

地域にはコロナ以外の病気に苦しむ住民も大勢います。横浜中央病院には、人々がこの地で安心して暮らしていけるように頑張ることが求められていると思っています。こんな時だからこそ、地域から期待される病院としての底力を見せていきたいと思います。特に今年は、家庭医の先生方からの入院依頼や緊急手術、複数の診療科受診の配慮などの要望にこたえていく所存です。今年もよろしくお願いします。



毎年恒例になりました横中セミナーですが、令和2年度はコロナ禍を鑑み院内職員参加、ポスター掲示のみ、密にならないよう玄関ホールを利用して行いました。



1. 健診当日における特定保健指導成果と考察～ SWOT 分析による実践結果～
健康管理センター 山下 舞

2. レスパイト入院の患者の背景の現状と課題

療養支援科 鈴木 雅喜・矢郷 敦子・清水 千陽

3. 手術室ラダー導入による手術室看護師の意識調査から見たもの
手術室 入澤 綾子

4. NSTレター発行による栄養関連情報の共有

～コロナ禍における NST 勉強会のあり方を模索する～

NST 委員会（伊藤祐介・斎野容子・佐竹陽仁・西村友秀・石橋祐太・
飯田明美・難波ひとみ・芳末かおり・櫻田麻菜香・戸村早紀・阪口美穂・
牧野美咲・風間亜紀子・小澤康太・相澤聡一・三松謙司）

5. 当院にて心臓リハビリテーション実施した超高齢心不全患者の現状と課題
理学診療部 角本 雅彦



合計5演題が出展され、感染対策のうえ発表されました。

皆さんこの状況下でもしっかりと目的を持った医療ができていることに關心させられました。

（文：大岩副院長）

放射線科紹介

放射線科業務は多岐にわたりますが、簡単に紹介させていただきます。

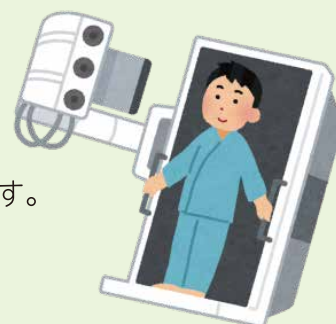
一般撮影（単純 X 線写真）

胸部・腹部・骨の写真撮影します。3 部屋 + ポータブルで撮影を行っております。1F に 2 部屋、2F 検診胸部 1 部屋です。



X 線透視装置（X 線 TV）

透視画像で確認をしながら X 線撮影を行います。3 部屋あり、午前中は主に検診のバリウム撮影 (MDL) にて使用しています。検診終了後は外科、消火器、呼吸器、泌尿器科、整形などでも使用して PICC、ERCP、気管支内視鏡、骨折の整復などにも使用します。



X 線 CT

現在の画像診断では欠かせない検査です 2 台の装置があり、午前中はフル稼働しています。心臓血管、大動脈などの 3D 画像も作成する事ができます。

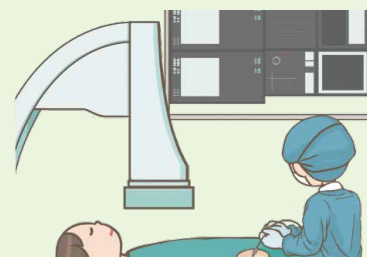


MRI(1.5Tスラ)

強い磁場を用いて体内の水原子のスピンを画像にする検査です。金属類は装置に吸着されてしまうので持ち込めません。ちなみに X 線は使用しません。

血管撮影（カテ・アンギオ）

X 線透視装置の一種ですが、主に血管の観察・治療するための装置です。



マンモ撮影（MMG）

単純 X 線写真ですが、乳房撮影に特化した装置です。

13 名の診療放射線技師が、全ての診療科・部署と協力して日々の画像診断をおこなっております。レスポンスのよい放射線科を目標としておりますので、ご要望があれば遠慮なくご相談下さい。



文責 放射線技師長 新津 裕

新しく横中に加わった医師を紹介します



12月1日付採用
西出 拓馬 医師
(にしで たくま)

脳神経外科医師



10月1日付採用
須磨 健 医師
(すま たけし)

脳神経外科非常勤医師



10月1日付採用
金沢 優 医師
(かなざわ ゆう)

脳神経外科非常勤医師

よろしく
おねがいします



事例検討に
ご協力
ください！



お知らせ 看護部倫理委員会より



『患者に寄り添う看護』をスローガンに、委員会ではアンケート調査やeラーニング研修、医療現場でのモヤモヤ場面・事例マンガ広報などの活動を行っております。

温かい、気配りのできる看護を提供するための活動です。

地域の皆様と患者さんのくらしを支えるための倫理について一緒に考えたいと学習しています。ぜひ、ご協力ください。

透析室
ACP担当



本年度委員です

緩和ケア認定看護師
緩和ケア委員会にて
ACP活動も
行っています

ご連絡は**JCHO横浜中央病院看護部**まで。

おわりに…

コロナ禍の1年が終わり新しい年となりましたが、依然厳しい状況が続いております。地域医療の担い手としては、連携そのものが難しい現状となっております。しかし、だからこそ必要な医療連携は継続しないといけません。当院は今年も可能な限りの地域医療を進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長兼地域ケアサービスセンター長 大岩功治



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization

JCHO (ジェイコー)

横浜中央病院
Yokohama Chuo Hospital

〒231-8553 横浜市中区山下町268番地
TEL : 045-681-9534 (地域連携室直通)
FAX : 045-681-9542
E-mail : chiikirenkei@yokohama.jcho.go.jp
URL : <http://yokohama.jcho.go.jp>

